

# フィジカルAI：世界の覇権争いと日本の「勝ち筋」戦略

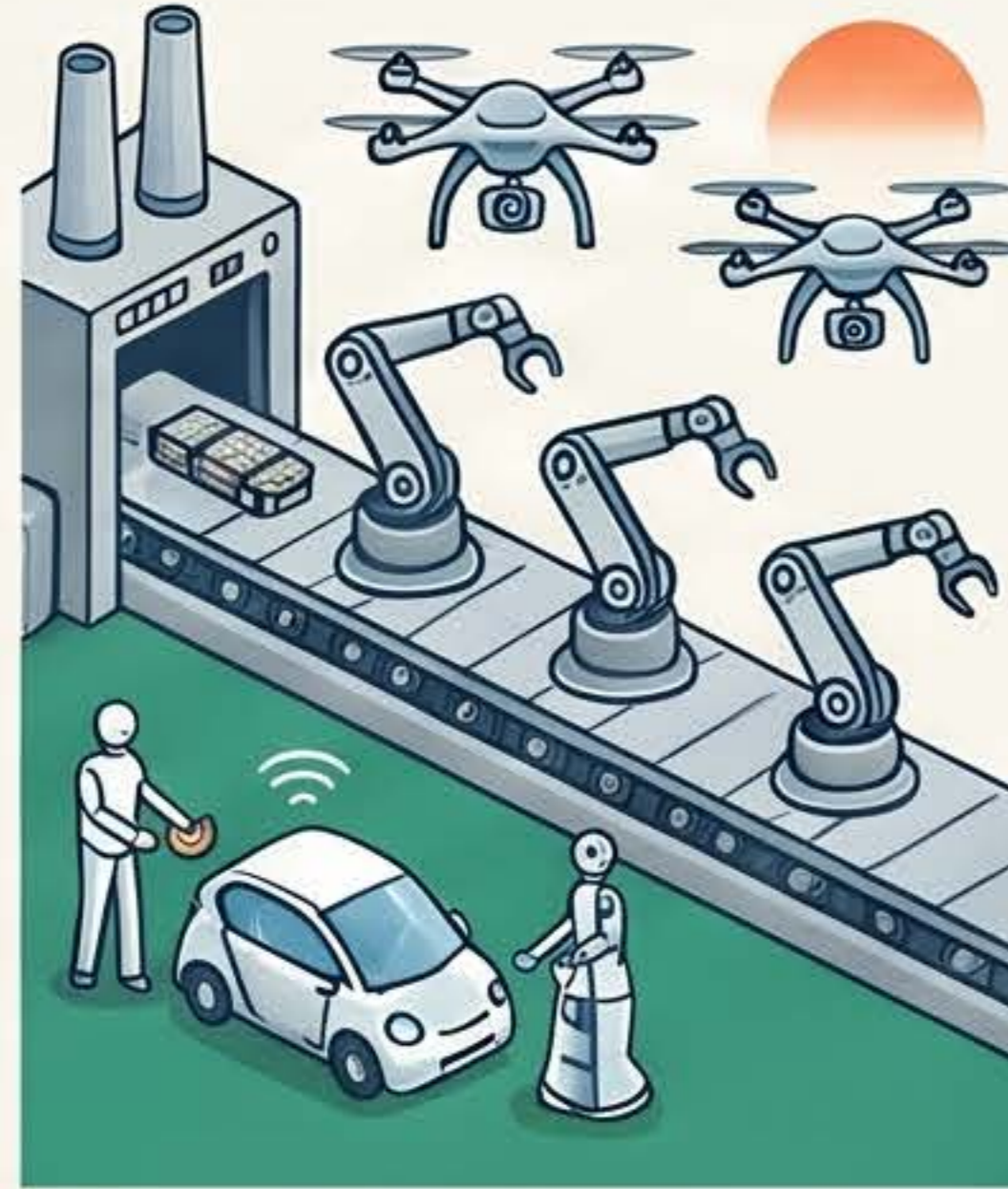
## 世界の三極化するアプローチ

米国 (US)



ソフトウェア支配：  
汎用的な「脳」を開発

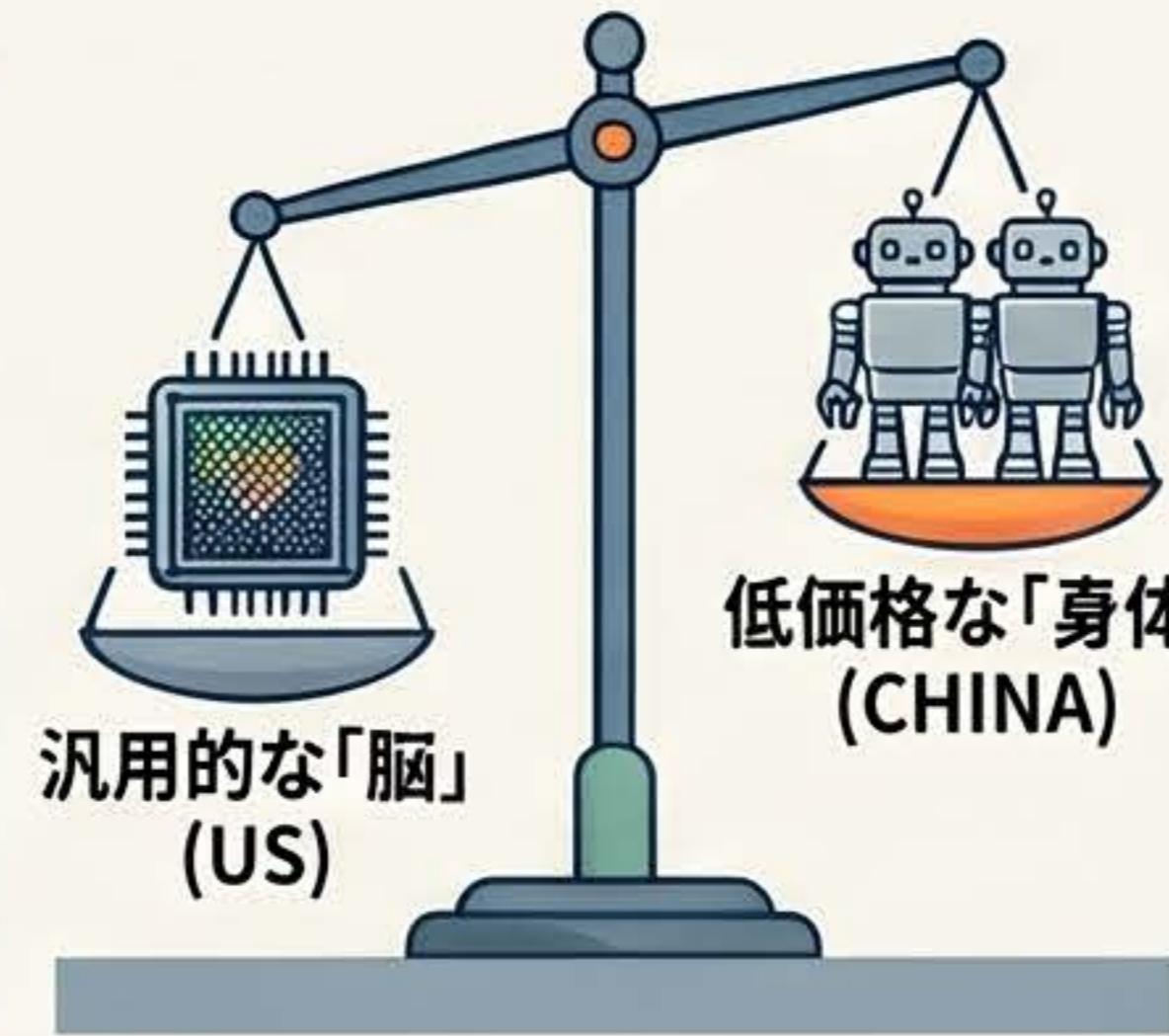
中国 (CHINA)



ハード量産：  
低価格な「身体(機体)」の  
シェア拡大

韓国 (KOREA)

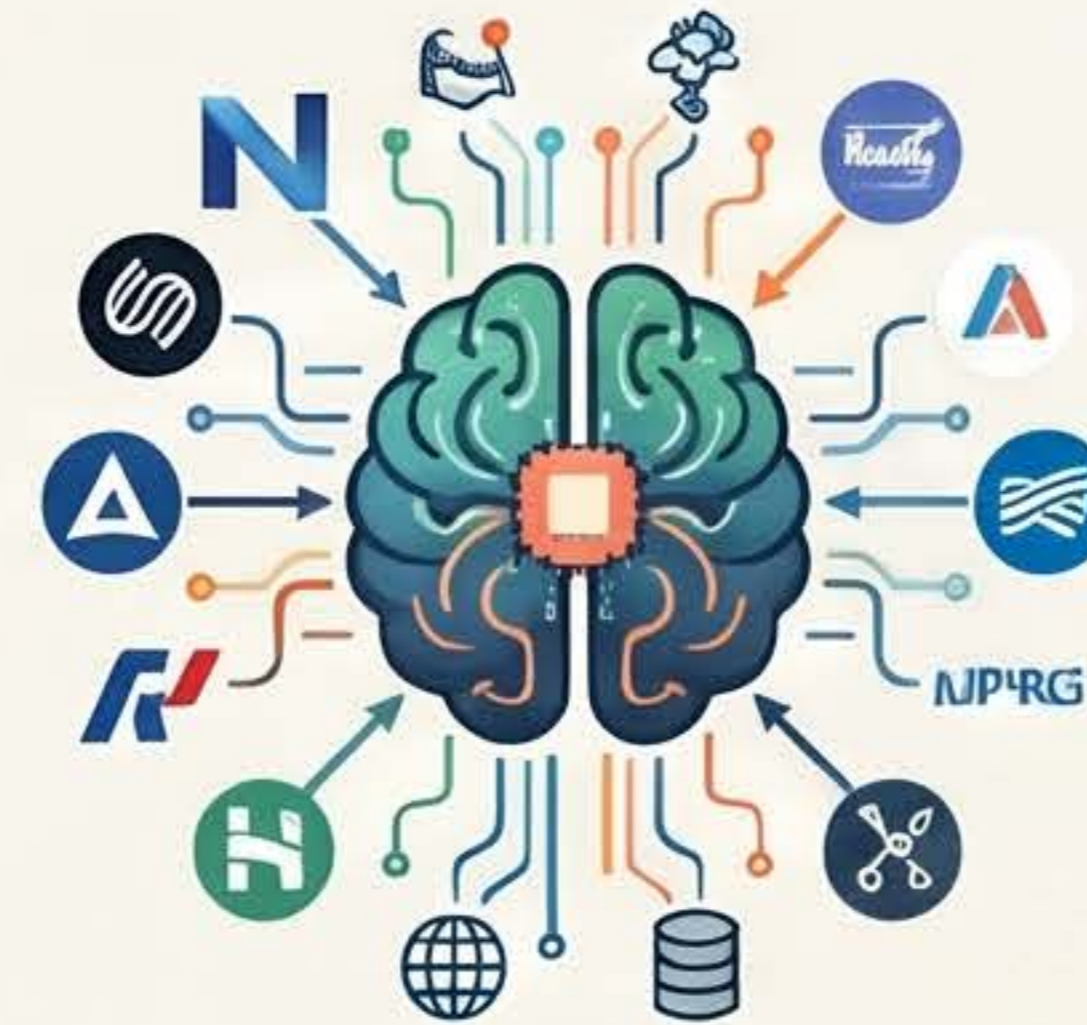
米国の「ソフトウェア支配」  
vs 中国の「ハード量産」



社会課題解決：  
社会実装に注力

## 日本の「勝ち筋」：主権AIと現場知の融合

Noetra連合による  
「主権AI」の確立



国産マルチモーダル基盤モデル：  
海外勢に依存しない構築

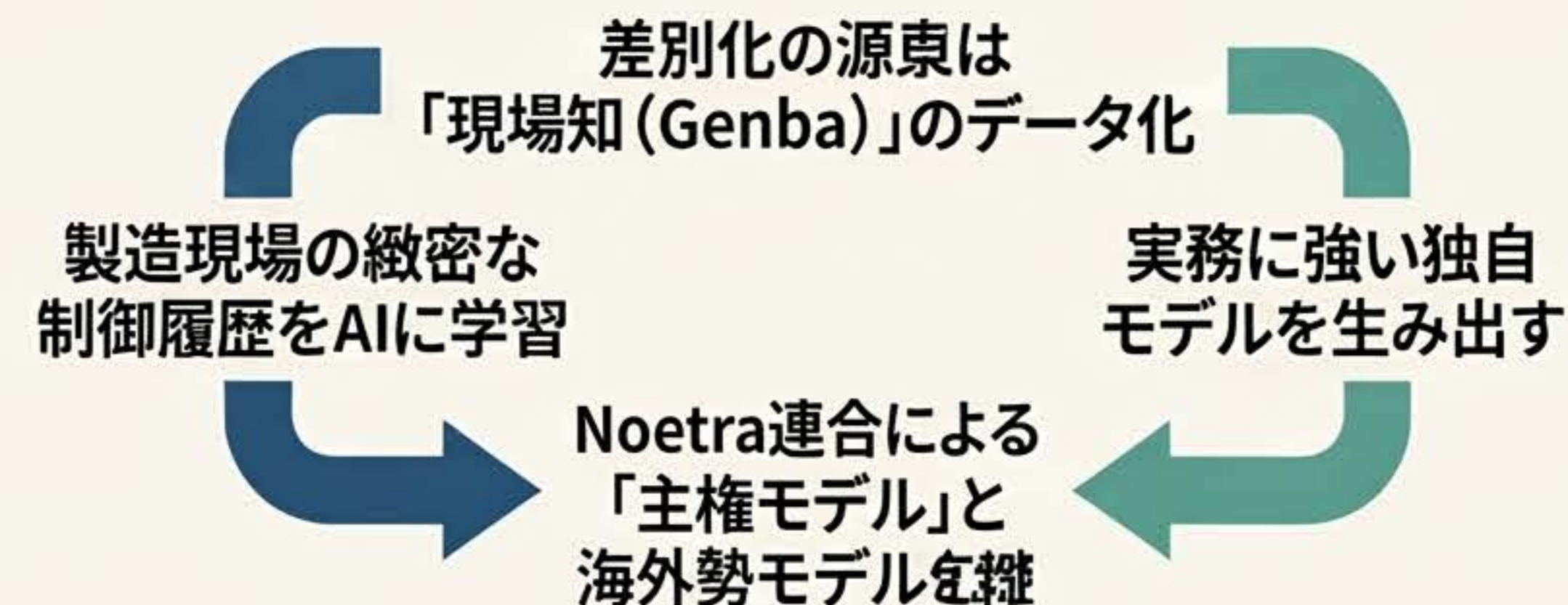
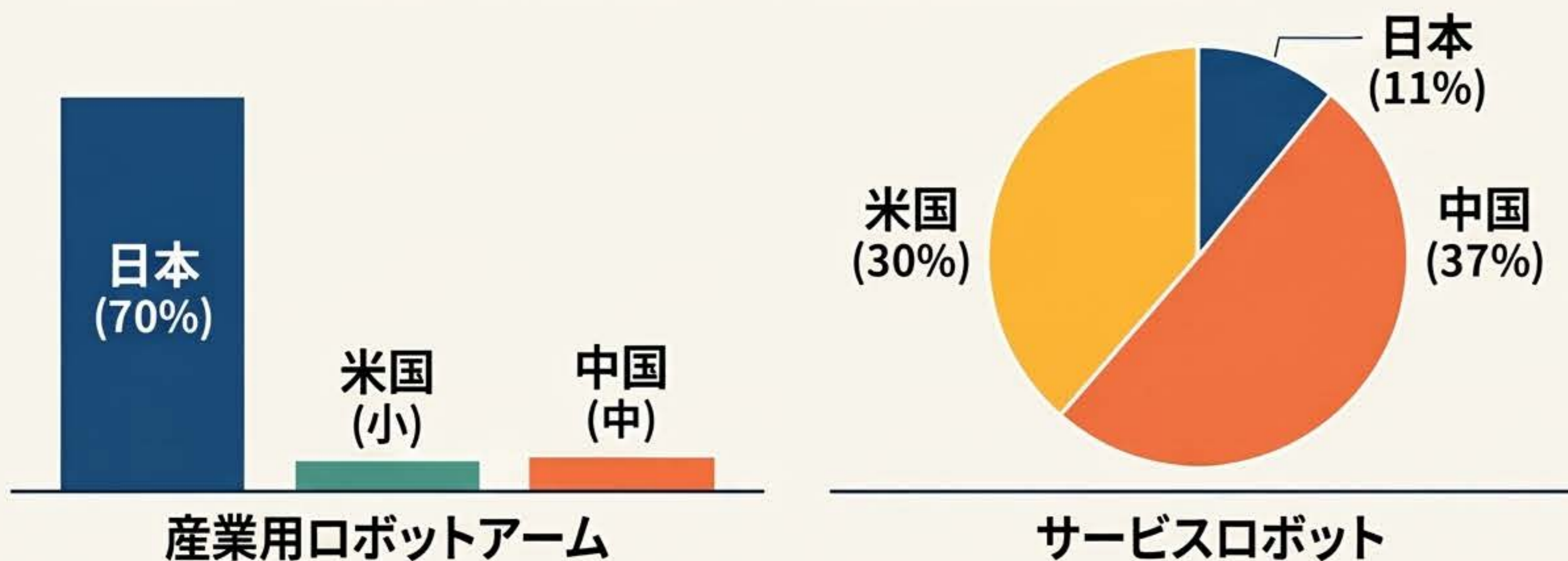
差別化の源泉は  
「現場知 (Genba)」の  
データ化



2040年：1,000万台の  
AIロボット導入



## 日米中 日米中の市場シェアにおける非対称性



2040年：  
1,000万台の  
AIロボット導入

深刻な人手不足を背景に、60兆円  
規模の国内市場創出を目指す